保存会だより

発行
穂高人形・
御船祭保存会

靖國神社、遊就館と築地場外市場の旅

恒例の研修旅行が三十七名の参加により令和七年七月八日実施された。

今回は令和七年が戦後八十年の節目の年を迎えたことにより、祖国と国民を守るため尊い一命を捧げた御英霊に慰霊と感謝の気持ちを込め靖國神社参拝と遊就館の見学を行った。天候に恵まれ、車中では初夏の風景を楽しみつつ、会員の中山隆さんより日本の神話から神社の雑学、靖國神社について等詳しい説明を受け理解を深めた。工事渋滞などもあり到着時間が若干遅れたが皆無事に靖國神社に到着。境内では十三日から行われるみたままつりの準備が進められている中拝殿へと向かった。現在の我が国の平和に感謝の誠を捧げ参拝した後、遊就館へと足を進めた。

遊就館では始めに壹岐禰宜様より遊就館の歴史や見どころなどの説明を受けた後、限られた時間ではあったが皆見学に回った。遊就館は明治維新から大東亜戦争までの戦没者の遺品や資料約十万点を収蔵、展示する施設である。零戦や人間魚雷「回天」の実物展示や御英霊の遺書、遺影を拝見すると、平和の尊さ、戦争の悲惨さを後世に伝えていく責務があることを改めて思い知らされた。

靖國神社を後にし、築地のすしざんまいにて昼食。新鮮なお寿司のランチに舌鼓を打ち、冷たい飲物で喉を潤しながら休息を取った。

昼食後は暫しの間築地場外市場を散策した。猛暑の中ではあったがそれぞれ買い物や食べ歩きを楽しんだ。帰りの車中でも中山さんの雑学クイズで有意義な時間を過ごし皆無事に帰着した。

今回は戦後八十年ということで靖國神社参拝、遊就館の見学と人形制作に直接関わる旅ではなかったが、戦争や歴史のことを学べて良かったとのお声を頂いた。

今後も有意義な研修旅行を行い、人形制作の参考となり、会員相互の親睦を深めるべく計画してまいります。



▲靖國参拝旅行

御船祭大いに賑わう

九月二十七日の穂高神社例祭に五艘のお船が境内に勢揃いし、賑やかに行われた。伝統ある御船祭、穂高人形を間近に見ようと市観光協会が募集した神楽殿からの見学ツアーも行われた。迫力有るぶつかり合いに歓声が沸き、外国人の見学者も大勢見られた。

当日の二十七日が土曜日となり、例年になく大勢の参拝者、観光客で境内が埋め尽くされたが、皆様の協力のもと怪我なく無事に終えることができた。

例祭御船

等々力町区子供船	八岐大蛇　その二	
穂高町区子供船	大阪夏の陣　松本藩　小笠原家	
穂高区子供船	一休さん　このはし渡るべからず	
両町大人船	多聞丸	
穂高区大人船	善知鳥峠	



▲等々力町区子供船　八岐大蛇　その二



▲穂高町区子供船　大坂夏の陣　松本藩　小笠原家

子供祭御船（九月七日）

等々力町区	八岐大蛇　その一
穂高町区	大坂冬の陣　松本藩　小笠原家
穂高区	屁をこくおっさま


▲穂高区大人船　善知鳥峠


▲穂高区子供船　一休さん　このはし渡るべからず


▲等々力町区　八岐大蛇　その一


▲両町大人船　多聞丸

北神苑にて人形展示行われる

当会の第十六回穂高文化協会穂高文化祭展示が穂高神社北神苑にて十月二十六日～十一月十六日の期間展示された。

展示初日の開会セレモニーでは雨が降りしきる中、展示飾り物の前でテントを張り行われた。

大内会長から「本年も立派に飾り物を飾ることができ感謝申し上げます。伝統ある人形飾り物を多くの人に見てもらえれば」と挨拶した。

各教室の場面は小平教室「川中島の戦い」、牛流教室「八岐大蛇　その三」、保尊教室「佐々成政　さらさら越え」で、それぞれ制作時の苦労や内容について説明がなされた。

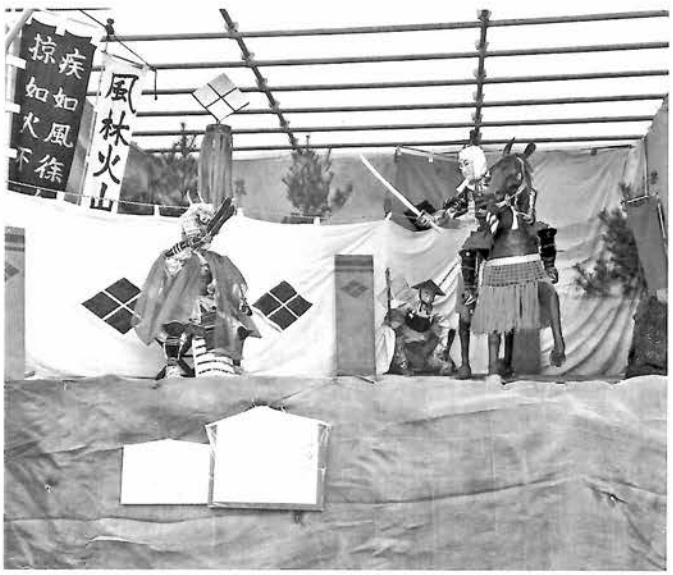
展示期間中は菊花展や十一月一・二日と食の感謝祭も開催され、県内外多くの人が飾り物に足を止め、記念撮影をしていた。

また、同じ場所を使い安曇野神竹灯（十二月五日～十四日）に期間中にも穂高健壮団により飾り物が展示された。


▲穂高町区　大坂冬の陣　松本藩　小笠原家


▲穂高区　屁をこくおっさま


▲八岐大蛇　その三



▲川中島の戦い

穂高南小・穂高駅・穂高会館で迎える穂高人形

本年も穂高南小学校の生徒に伝統文化を伝えるべく南小玄関に小平教室により「穂高町区子供船（実寸の四分の一）、飾り物川中島の戦い」が飾られた。実際のお船を身近にみることでお船まつりに一層の関心を持ってもらえるよう飾られた。

穂高駅では保尊教室により駅改札前に「太田道灌・山吹の里伝説」が飾り替えられ、多くの観光客に楽しんでいただいた。

また、七年度から新事業として穂高会館に人形を飾る事となり、本年度はロビーに牛流教室により「酒呑童子（完）」が一年を通して飾られ、施設利用者に楽しんでもらえた。

このように人形場面を様々な場所に展示して多くの人達に穂高人形への理解を深めていただくよう活動して参ります。



▲佐々成政　さらさら越え



▲穂高駅　飾り物



▲穂高南小学校　飾り物

子供達に人形作りの楽しさを

令和七年八月一日穂高町区公民館にて十六名の参加者を対象として小平教室により刀の制作が行われた。予め教室にて木材を刃、鍔、鞘の形に作り、子供達が刃は銀色に塗装して、柄には紐を巻き鍔や鞘に各自がデザインした色塗りを行って完成させた。

八月三十日には等々力町区公民館にて四十名の参加者を対象として牛流教室によりお船まつり子供船に飾られる龍の飾り物塗りが行われた。スプレーや絵の具を使いそれぞれが好きなように色塗りを楽しんでいた。

十二月十四日には穂高区田中公民館にて三十名の参加者のもと保尊教室の指導により正月飾り、花など作り方講座が行われた。皆楽しみながらも真剣に取り組み、良い正月が迎えられそうだねと好評を得た。



▲小平教室講座


▲保尊教室講座


▲牛流教室講座

着物・「なる」御寄進御礼

この一年間に人形や御船の飾り物に必要な着物類・「なる」の寄付をお寄せいただき心より御礼申し上げます。

着物・帯四十七点　小物十五点

以上を八名の方より頂きました。一人で四十点近く奉納頂いた方もあり、今後有効に使用させて頂きます。

着物・萱類等についての寄付は引き続き事務局穂高神社社務所にて受け付けておりますので、今後もご協力を宜しくお願い致します。

本年度もあづみ野カントリークラブのご厚意により、敷地内の木材「なる」の提供を受け、等々力町区、穂高町区の子供船制作に使用させて頂きました。

今後もお船制作に必要な木材「なる」の木の情報を探しておりますので併せて事務局にご連絡をお願い致します。

七年度会員数報告

現在会員数　一，一〇〇名

賛助会員名　十六社

（株）ＪＦＥエンジニアリング／（株）サン工機
（株）アイダエナジー／（株）武井組
田中グループ（株）／医療法人仁雄会穂高病院
（有）石川モータース／おきクリーニング店
（株）小宮山製菓／（株）ＧＳユアサ安曇野
（株）中部水工／（有）原野製菓
（有）穂高綜合印刷所／（株）松澤組
（有）丸山菓子舗／（株）信越セフティデンキ
（順不同 敬称略）

会員募集

安曇野の伝統文化である穂高人形やお船まつりを後世に伝えてゆくべく日頃活動している当会では、会員募集をしています。

当会の主な活動

・定期的な教室の開催
・穂高人形の展示（研修成果発表の機会）
文化祭（神社北神苑）
十月二十五日～十一月十五日
穂高駅・穂高南小学校・穂高会館（通年）

本会にはいつでも入会頂けます。

年会費　一、〇〇〇円

問い合わせ　事務局　穂高神社社務所内
〇二六三―八二―二〇〇三
安曇野市穂高六〇七九

